

第13回 山梨県 地域年金事業運営調整会議（資料）



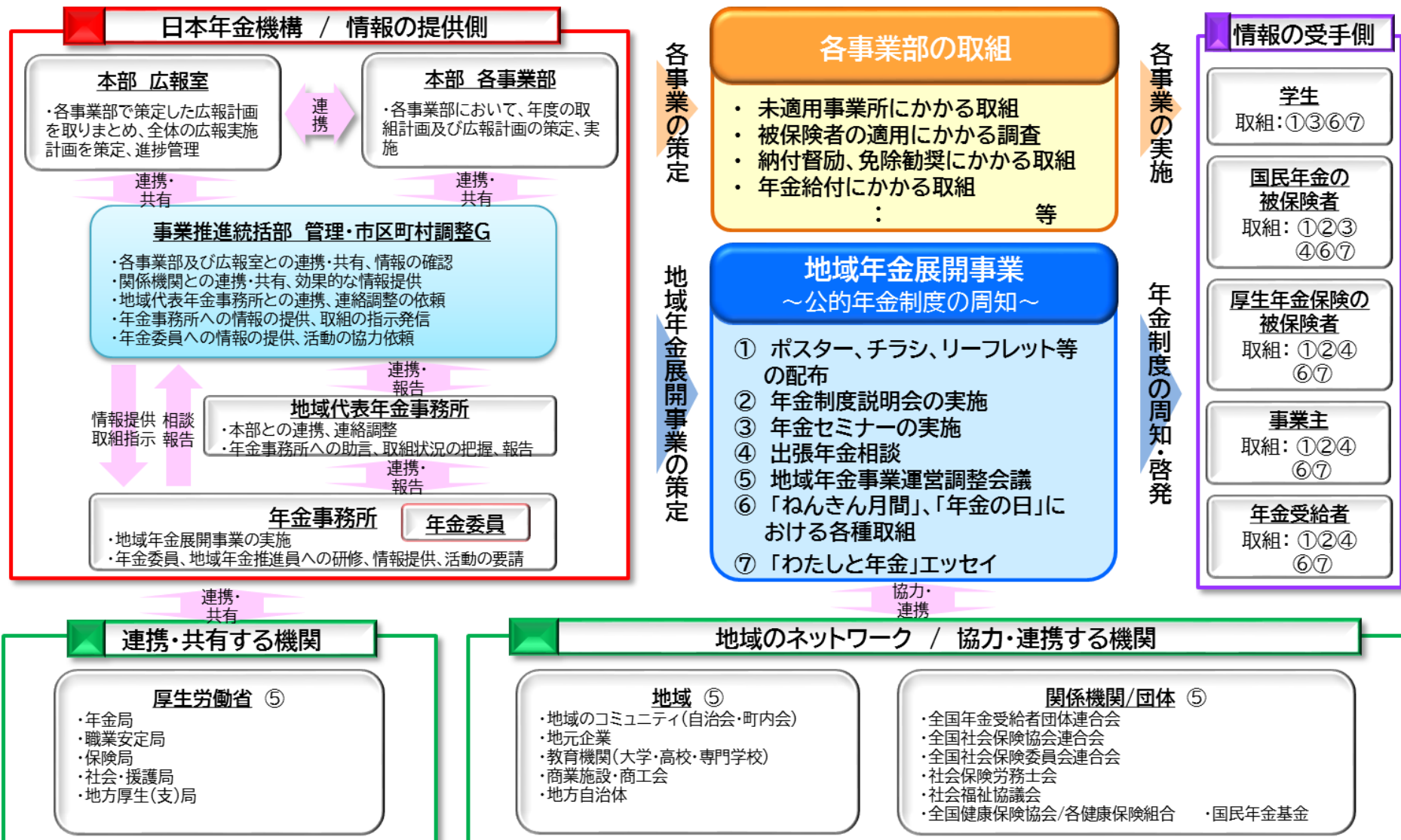
令和7年7月18日

甲府年金事務所・大月年金事務所・竜王年金事務所
(山梨県代表事務所)

1. 地域年金展開事業の概要	P 2
2. 令和 6 年度事業実施結果	P 4
3. ねんきん月間及び年金の日の取組み	P 7
4. 令和 7 年度事業計画	P 8

【参考】 前回の会議でいただいたご意見・ご提案と機構の答弁

1. 地域年金展開事業の概要 (1/2)



1. 地域年金展開事業の概要（2/2）

地域年金展開事業の主な取組

- ◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

《取組内容》

地域連携事業

- ・職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。
- ・市役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。

年金セミナー事業

- ・職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。
- ・大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。

地域相談事業

- ・年金事務所から遠方の地域住民や利便性向上などのニーズに応えるため、市役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

年金委員 活動支援事業

- ・年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。

地域年金事業 運営調整会議

- ・公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

2. 令和6年度事業実施結果（1/3）

※「別冊資料」参照

事業名	実施した事項	課題等
地域連携事業	①教育機関等へのポスターの掲示やリーフレットの配布の協力依頼 →「わたしと年金」エッセイ募集のポスターの掲示とリーフレット配布の協力を県内全中学校、全高校、全大学・短期大学、全専門学校及び公共団体等に依頼しました。 ②年金制度説明会の実施 →令和6年6月、事業所の事務担当者を対象に算定基礎届事務説明会を6回開催しました。 ③関係機関の広報誌等による周知・啓発 →関係機関や報道機関のご協力により、年金制度に関する記事掲載やリーフレット配布・回覧及びラジオでの配信をさせていただきました。 山梨日日新聞、FM富士、FM甲府、県内市町村、甲府商工会議所、山梨社会保険協会、山梨県社会保険委員会連合会、山梨労働局、山梨県社会保険労務士会、山梨行政監視行政相談センター、山梨県（教育庁）、山梨中央銀行、JA笛吹、JA山梨みらい等 ④年金委員を通じての周知・啓発 →地域型年金委員を通じて、年金制度説明会を開催していただきリーフレットを配布しました。	【課題】 予算的な問題から周知・啓発活動に限りがある。 【対応策】 地域のCATVや自治体を活用して周知・啓発を図る。
年金セミナー事業	①年金セミナーの開催拡大に向けた取組み →年金セミナーのアプローチ実施状況 令和6年4月山梨県教育委員会、山梨県（教育庁）、公立高等学校長会、私学高等学校長会に協力依頼をしました。 →地域年金推進員の支援による取組み 地域年金推進員（県立高等学校長OB）による勧奨が効果的に実施されるよう、代表年金事務所が定期的にフォローアップし、管内の公立高校を対象に具体的な勧奨計画を策定し取組みました。	【課題】 公立高等学校の約5割、私立高等学校の約8割で未実施となっており新規開催の学校が増えていない。 【対応策】 山梨県教育委員会等への協力要請の強化を図る他、若年層（小学校・中学生）を対象としたセミナーを開催する。

2. 令和6年度事業実施結果（2/3）

※「別冊資料」参照

事業名	実施した事項	課題等
年金セミナー事業	②教育機関における年金セミナーの実施 →令和6年度は、管内の大学、短期大学、専門学校および高等学校等を対象に、通期で33校34回（前年比2回増）、3,414人（前年比456人減）の学生・生徒に年金セミナーを実施しました。 →年金セミナー実施の効果：受講者へのアンケートの結果、年金のイメージにおける『まあ良い』以上の評価の状況について、年金セミナー実施前は39.7%でしたが、年金セミナー実施後は85.1%に向上しました。 ③セミナー講師のスキルアップに向けた取組み →講師の質を高めることを目的とした「年金セミナー・制度説明会王」コンテストが2年ぶりに開催されたため、コンテストに向け管理職を前にプレゼンを行いスキルアップを図った結果、甲府年金事務所の職員が地区予選会（南関東地域第1部）において5位に入賞しました。	【課題】 セミナーの開催が集中する時期（毎年2月）がある。 【対応策】 公立・私立高等学校長会で分散化を依頼する。 事務所主導で日程調整を行い開催の分散化を図る。 【課題】 講師を務める若手職員の育成。 【対応策】 他拠点の職員の講演を参考にスキルアップを図る。
地域相談事業	①遠隔地における出張年金相談会の実施 →市町村の協力で会場を借用し、年金事務所へ容易に相談に来られない地域の方を対象とした個別相談を実施しました。（28回 226人） ②①で行う出張年金相談以外に実施する出張年金相談会 →山梨学院大学キャンパスや都留文科大学等において、学生（外国人留学生含む）を対象に（学生納付特例）出張年金相談を実施しました。（11回 151人）	【課題】 外国人の国民年金未納者が増加しているため、効果的な対策が必要。 【対応策】 県、市町村と連携を図り対策を実施する。

2. 令和6年度事業実施結果（3/3）

※「別冊資料」参照

事業名	実施した事項	課題等
年金委員活動 支援事業	①年金委員への情報提供 →新たに年金委員となった方が円滑に活動することができるよう、委嘱時に「職域型（地域型）年金委員活動の手引き」を配付しました。 →地域型年金委員に対して定期的な情報提供を行うため、年4回（令和6年4月、7月、10月、令和7年1月）「年金委員通信」を発行しました。 ②年金委員研修会 →他拠点の年金委員との間で情報や知識を共有し、委員活動を支援するため、全国年金委員研修会に2人が参加しました。また、各拠点にて合計32人の年金委員がテレビ視聴しました。 →令和7年3月、全国健康保険協会山梨支部と合同で、年金委員・健康保険委員を対象に3回の研修を開催し、年金委員196人が受講しました。 ③年金委員との連絡会等 →職域型年金委員：社会保険委員会各支部の会議等において意見交換を実施しました。 →地域型年金委員：年金委員連絡会を開催しました。（実施回数2回、59名出席） ④年金委員数（令和6年度末） 職域型年金委員 1,474人（前年度比 +9人） （内訳:甲府 526人、竜王 596人、大月 352人） 地域型年金委員 72人（前年度比 -2人） （内訳:甲府 34人、竜王 22人、大月 16人）	【課題】 年金委員拡大に向け取り組んでいるが、思うように職域型・地域型とも年金委員の増員に結びついていない。 【対応策】 従業員数が少ない事業所の事業主あてにも文書等を送付し勧奨を図る。

3. ねんきん月間及び年金の日の取組み

※「別冊資料」参照

事業名	実施した事項	課題等
ねんきん月間	①年金委員表彰状伝達式 →事業に功績のあった年金委員 5 人に表彰状を授与しました。 ②年金委員研修会 →表彰状伝達式に併せて年金委員・健康保険委員研修を開催し、年金委員約200人が受講しました。 ③県民の日イベントへの参加 →小瀬スポーツ公園におけるイベントに年金事務所として参加し、「ねんきんネット」チラシを約400人に配布しました。 →併せて年金相談を実施し、42人の方からの相談を受付けました。 ④こども絵画展の実施 →地元の幼稚園児に「大きくなったら(将来の夢)」をテーマに絵を描いていただき、11月5日から12月6日までの間、甲府年金事務所に作品を展示しました。	【課 題】 出展作品が多くなった場合の展示場所及び賞状授与式の開催方法の見直し。 【対応策】 近隣の施設等含め検討する。
年金の日	①こども絵画展出展者賞状授与式 →こども絵画展に向け絵を描いていただいた園児・ご家族をお招きし、賞状授与式を実施しました。 ②年金教室の実施 →こども絵画展出展者賞状授与式に参加いただいた園児のご家族を対象に年金教室を実施しました。	

4. 令和7年度事業計画（1/3）

事業名	取組み内容	具体的な活動
地域連携事業	報道機関、県、市町村、自治会、事業所、関係機関、関係団体と連携し、年金制度説明会をはじめ地域に根付いた情報提供活動を行います。	①「わたしと年金」エッセイ募集にかかる広報の実施 ⇒「わたしと年金」エッセイ募集のポスター掲示とリーフレット配布の協力を県内全ての中学校、高校、大学、短期大学、専門学校及び公共団体等に依頼します。 ②年金制度説明会の実施 ⇒今年度より算定基礎届事務説明会を社会保険制度説明会に改め、対面で開催します。（令和7年6月延べ9回開催済） ⇒ハローワークにて開催される雇用保険受給者説明会において、国民年金の加入手続きや保険料免除申請について説明します。 ③報道機関による配信や関係機関の広報誌等による周知・啓発 ⇒報道機関による放送等を通じた制度周知を実施します。 ⇒制度周知等のために、関係機関が発行する広報誌等に年金制度に関する記事の掲載を依頼します。 ④年金委員を通じての周知・啓発 ⇒地域型年金委員を通じて、制度周知のためのポスター等を自治会掲示板等に掲出させていただきます。
年金セミナー事業	(1)年金セミナーの実施数拡大を目指します。 実施にあたっては、地域年金推進員を活用した効果的なアプローチと併せ、保護者や教職員を対象とした年金セミナーを積極的に実施します。	①教育機関等における年金セミナーの実施 ⇒新たに小・中学校を対象に加え、高校、大学、短大及び専門学校等において年金セミナーを開催します。 ⇒セミナー講師を担う職員の説明能力の向上を図るため、演習や地域年金推進員による技術指導を行う他、セミナー王に参加させ経験を積ませます。 ②年金セミナーの開催拡大に向けた取組み ＜アプローチ実施＞ ⇒山梨県教育委員会等の各機関に年金セミナー開催協力を依頼します。 ⇒これまでに年金セミナーを実施した学校については、引き続き実施していただけるよう継続的な開催に向けた依頼を行います。 ＜開催実績の無い学校等に対する取組策＞ ⇒特別支援学校等における、保護者や教職員を交えた年金セミナーの開催に向け積極的なアプローチを行います。 ⇒近隣幼稚園児のご家族に向けた制度説明会を開催します。 ⇒地域年金推進員を活用したアプローチを実施します。

3. 令和7年度事業計画（2/3）

事業名	取組み内容	具体的な活動
年金セミナー事業	(2)地域年金推進員が効果的に活動できるよう、年金事務所における情報提供等の支援を行います。	○地域年金推進員への活動支援 ⇒管理年金事務所にて、活動状況の把握のため、定期的に推進員と連絡を取り、活動のフォローアップをします。 ⇒地域年金推進員が効果的に活動できるよう、連絡会等の実施を検討します。
地域相談事業	年金事務所が主体となり、市町村、自治会、大学、その他イベント会場等で出張年金相談会を実施します。	①遠隔地等における出張年金相談 ⇒年金事務所から遠方の地域において、出張年金相談を実施します。 ②①で行う出張年金相談以外に実施する出張年金相談会 ⇒令和6年度同様「県民の日」記念式典（11月16日予定）に出展するほか、国際交流センターや大学構内及び教会等において出張年金相談会を実施します。
年金委員活動支援事業	(1)年金委員に対する定期的・継続的な情報提供を行い、委員の制度に関する知識の定着及び活動の質の向上につなげます。	①年金委員への情報提供 ⇒新たに年金委員となった方が円滑に活動できるよう、委嘱時に「職域型（地域型）年金委員活動の手引き」を配付します。 ⇒地域型年金委員が円滑に活動できるよう、年金に関する情報や年金委員に協力をお願いしたい内容等を定期的にお知らせする「年金委員通信」を発行します。（令和7年4月・7月発行済、10月・令和8年1月発行予定） ②年金委員研修会 ⇒年金委員との間で情報や知識を共有し、委員活動を支援するため、④表彰状伝達式に併せて、また全国健康保険協会山梨支部と合同で、年金委員研修会を開催します。（11月・3月）

3. 令和7年度事業計画（3/3）

事業名	取組み内容	具体的な活動
年金委員活動 支援事業		③年金委員との意見交換等 ⇒社会保険委員会各支部における会議等において意見交換を実施します。 ⇒地域型年金委員連絡会を定期的に開催し、制度改正等の最新情報の提供を行います。（5月19日開催済、10月15日開催予定） ④表彰状伝達式の開催 ⇒顕著な功績が認められる年金委員を推薦し、表彰状伝達式を開催します。（11月13日開催予定）
	(2)年金委員制度を広く周知し、委嘱拡大に関する取り組みを実施します。	①年金委員未設置事業所への勧奨 ⇒職域型年金委員の委嘱拡大を図るため、現在、年金委員が設置されていない事業所へ文書等により委嘱勧奨を行います。 ②異動時に後任者推薦の協力を要請 ⇒人事異動等により職域型年金委員が大きく減少することのないよう、退任される職域型年金委員に対して後任者推薦について協力を要請します。 また、その年金委員が退職により退任する場合、地域型年金委員の勧奨を行います。 ③地域型年金委員委嘱数拡大の取組 ⇒高齢者や生活困窮者、若年層への周知・啓発活動を行うため、市町村職員、教育関係者OBを中心に新たな地域型年金委員の獲得を目指します。
地域年金事業 運営調整会議 の開催	地域年金展開事業の事業計画に係る今後の取組方針や実施結果を報告し、効果的かつ効率的な事業運営を行うため地域の有識者より意見・助言を伺います。	○会議でいただいた意見を取り込んで事業を実施 ⇒地域年金事業運営調整会議を定期的 to開催し、地域年金展開事業の事業計画に係る取組方針や実施結果などを報告し、効果的かつ効率的な事業運営のための意見・助言を伺います。 ⇒会議でいただいた意見を踏まえ、当該年度の事業運営を実施します。

【参考】前回の会議でいただいたご意見・ご提案と機構の答弁

日付	事業名	意見・提案事項	答弁
令和6年7月18日 第12回 運営調整会議	地域連携事業	年金制度は大変複雑で分かりづらいため、制度を維持・発展させるためには広く国民に理解してもらうことが必要と考える。説明を受け努力していると感じた。引き続き制度の周知に向け努力願いたい。	現在事業所や年金委員を対象に研修会を行っていますが、一部の事業所に限られているように思います。甲府商工会議所様にご協力いただき、可能であれば職員がお伺いして制度の普及・啓発等の講演をさせていただければと思っています。
		自治会の回覧はやっているのですか。	甲府年金事務所管内の4市に自治会連合会を通じてご協力をいただき実施しました。
		甲府商工会議所では会員向けの広報誌がありますので、制度の内容の原稿をいただければ周知出来ると思う。	制度周知の機会を提供していただき、ありがとうございます。是非お願い致します。
	年金セミナー事業	高齢者向けのセミナーも実施してもいいのではないか。	受給者向けのセミナーが実施出来ない要因としては自分の事を知りたいという傾向にあります。そのため個人の年金相談という形になってしまっています。一般論として聞きたいという声を上げていただければセミナーの実施も幅を広げて行えるのではないかと考えます。

【参考】前回の会議でいただいたご意見・ご提案と機構の答弁

日付	事業名	意見・提案事項	対応状況
令和6年7月18日 第12回 運営調整会議	年金セミナー事業	以前北関東地区の運営調整会議に出席した際、講師のスキルアップを図るためコンテストに参加する旨の話を聞いたが、参加してみてはいかがか。	今年度は、年金セミナー王というコンテストが実施される予定があるので、本県にて予選会を実施し、優秀な職員には南関東地域第1部の予選会に出場させることを考えております。
		大学生と専門学校生、それと高校生とでは反応は違いますか。	大学生、専門学校生は20歳間近、または20歳になった方ですので、自分事として考える方が多いように思います。高校生はまだ20歳まで年数がありますので興味が薄いように感じられます。
		大学生と高校生とでは説明の内容を変えるなど工夫しているのか。	高校生は授業の枠で実施しているので50分枠での説明となっています。それに対して大学生は90分枠と時間が長くなるので内容も国民年金だけでなく厚生年金などの話もしたり、より詳しく説明しています。
		高校生に対する周知について、紙媒体だけでなく違ったツール等を用いて周知すると良いと思う。	日本年金機構でもHPやX(旧ツイッター)等を用いて年金制度を積極的に周知しているところです。今後もこういったことが若者に受け入れられるか、検討しながら実施していきたいと思っております。

【参考】前回の会議でいただいたご意見・ご提案と機構の答弁

日付	事業名	意見・提案事項	答弁
令和6年7月18日 第12回 運営調整会議	地域相談事業	山梨学院大学で学生納付特例の勧奨を行っているようだが、どれくらいの申請者がいたのか。	3回実施して、各30名くらいの来訪者の相談を受けています。概ね50~60件くらいは申請書を受理したと思われます。
		山梨学院大学で学生納付特例の勧奨については若い人達が年金に対して不安になっていたり、制度そのものに関心がなかったり、その中で学生に制度の説明をすることはとても重要なことであると思う。また出張相談については社労士会で無料相談会を実施している。年金に限らず労働も含めて相談を実施しているが、その中で年金の相談は全体の40%を占めておりそのうち障害年金の問い合わせが多くなってきている。先ほど説明があった出張相談が減少しているという内容とは食い違うように思うが。	資料に載せている出張相談は社労士会と年間契約をしているものだけであって、社労士会独自の相談会は載せていませんのでご了承ください。
		出張相談所について地域も回数も以前に比べて少なくなっていると思うが機構の方針なのか。	出張相談所は人数の関係もあり、また費用対効果も求められているので地域も回数も少なくなってきました。現在は予約制として運営しています。

第13回 山梨県 地域年金事業運営調整会議（別冊資料） 《令和6年度の取組事例等》



令和7年7月18日

甲府年金事務所・大月年金事務所・竜王年金事務所
(山梨県代表事務所)

令和6年度各拠点での取組事例等

○ 地域連携事業

・ 教育機関等へポスター掲示やリーフレット配布の協力依頼

「わたしと年金」エッセイ募集のポスター掲示とリーフレット配布の協力を山梨県内全中学校、全高校、全大学、全専門学校及び公共団体等に依頼しました。

・ ラジオにおける年金制度の案内（※FM富士音声データ用意）

8月16日FM富士、8月27日FM甲府にて年金制度の周知及び手続きに関する案内を放送しました。

・ 山梨日日新聞への記事掲載

山梨県国際交流協会の協力の下、6月12日「免除の手続きについて」、6月26日「年金制度について」の記事を掲載しました。

令和7年2月15日に前納制度に関する記事を掲載しました。

・ 各自治会へのリーフレットの配布協力依頼

5月と10月の2回、甲府事務所管内の自治会連合会に承認をいただき、オンラインサービスに関するリーフレットの配布及び組回覧を行いました。

・ 甲府商工会議所への協力依頼

甲府商工会議所の協力の下、令和7年2月HPへ年金制度に関する内容を掲載いただいた他、リーフレットを設置していただきました。



○ 甲府商工会議所HP掲載原稿

外国人従業員を雇用している事業主の皆様へー
日本に住む20歳以上60歳未満の方は、国籍にかかわらず公的年金制度への加入が義務付けられています。しかし、ご本人の制度への理解不足から、必要な手続きが行われていないため、障害年金等の給付が受けられない場合があります。

そこで、現在外国人従業員を雇用している事業主の皆様にお願います。その方が日本に来てから厚生年金に加入するまでの期間、国民年金の加入手続きおよび保険料の納付や免除申請等の手続きが行われていることをご自身に確認いただくため、別添リーフレットの配付等による注意喚起にご協力ください。他にも言語や内容が異なるリーフレットがいくつかありますので、必要に応じて日本年金機構HPからダウンロードしていただくか甲府年金事務所にご相談ください。

令和6年度各拠点での取組事例等

○ 年金セミナー事業

・学校等における年金セミナーの実施

県内の教育機関にご協力をいただき、生徒に直面またはリモートで年金セミナーを行いました。

令和5年度より対面での実施を希望する教育機関が増え、令和6年度の非対面型は、1校のみとなっています。

(写真)

～教育機関別内訳～

教育機関	実施校数
大学・短大	2校（前年3校）
専門学校	8校（前年5校）
高校	21校（前年20校）
特別支援学校	2校（前年2校）
中学校	0校（前年1校）
合計	33校（前年31校）

～年金事務所別内訳～

事務所名	実施回数
甲府	13回（前年13回）
竜王	12回（前年8回）
大月	9回（前年11回）
合計	34回（前年32回）

・年金セミナー・制度説明会王 予選会への参加

年金セミナー及び制度説明会の講師を務める職員が、互いの説明手法や資料の活用方法を共有し、新たな発想を取り入れる契機とするなど、年金セミナー等の品質向上を図ることを目的として開催された地区予選会に県内各年金事務所の職員が参加しました。



令和 6 年度各拠点での取組事例等

○ 地域相談事業

・出張年金相談を実施

山梨県内の各年金事務所では、市町村の協力を得て、年金事務所から遠距離にお住まいで、年金事務所のご利用が難しいお客様のために出張年金相談を定期的を開催しました。

令和 6 年度の相談者数は、前年比 2 4 % 減の 2 2 6 人でした。

(写真)

令和6年5月22日、6月12日、19日、10月23日、11月6日山梨学院大学にご協力をいただき、キャンパス内で外国人を対象とした出張年金相談（主に、国民年金保険料学生納付特例制度及び納付猶予）を実施しました。

また、「年金の日」「ねんきん月間」の活動においては、令和6年11月17日(日)小瀬スポーツ公園における「県民の日」記念式典に参加し、制度周知チラシの配布と出張年金相談を行いました。

(写真)

(写真)

出張年金相談を実施した市町村

【甲府年金事務所】・・・甲州市、山梨市

【竜王年金事務所】・・・北杜市

【大月年金事務所】・・・富士吉田市

事務所名	実施回数	相談者数
甲府	1 2 回 前年12回	9 7 人 前年145人
竜王	1 2 回 前年12回	1 1 5 人 前年123人
大月	4回 前年6回	1 4 人 前年29人
合計	2 8 回 前年30回	2 2 6 人 前年297人

(写真)

令和6年度各拠点での取組事例等

○ 年金委員活動支援事業

・地域型年金委員向け情報提供誌『年金委員通信』の発行について

1 発行の目的

- 地域型年金委員は、個人で協力していただいている方も多く、地域住民に対して活動していただくためには、年金事務所から年金委員に対して積極的に働きかけ、両者で連携協力する必要があります。
- そのため、地域型年金委員が円滑に活動することができるよう、令和元年度より、年金に関する情報や地域型年金委員に協力をお願いしたい内容等を定期的にお知らせする情報提供誌を発行することとしました。

2 発行の概要

(1) 発行回数

年間4回発行（4、7、10、1月）

(2) 主な掲載記事



掲載記事	令和6年4月号	令和6年7月号	令和6年10月号	令和7年1月号
ねんきんトピックス	①令和6年度の年金額等の改定について ②在職老齢年金の支給停止調整額について ③国民年金保険料について	①法律改正により10月から一部の短時間労働者について健康保険・厚生年金の加入が義務化されます。 ②各国における老齢年金の主な受給要件	①年金の制度や手続きに関する各種動画ホームページの新設 ②年金定期便をお届けしています。	①短時間労働者の健康保険・厚生年金の適用拡大 ②外国人の方向けコンテンツのご案内 ③ねんきんネットの利用勧奨 ④年金委員表彰状伝達式の開催
各地域における活動	・県民の日記念行事における年金相談ブースの出店状況	・千葉県における令和6年度セミナー講師養成研修の状況	・神奈川県における地域年金展開事業の取り組み状況	・ねんきん月間におけるこども絵画展の実施

令和6年度各拠点での取組事例等

○ 年金月間活動事業

・ 年金委員表彰式の開催について

令和6年11月17日アピオ甲府にて、年金委員・健康保険委員の表彰状伝達式及び合同研修会が開催され、長年にわたり事業功績のあった年金委員に表彰状が授与されました。

同時に、年金委員研修を開催しています。

令和6年度年金委員表彰・山梨県内の受賞者

厚生労働大臣表彰	1名
日本年金機構理事長表彰	3名
日本年金機構理事表彰	1名

(写真)

・ 全国年金委員研修会の開催について

令和6年11月11・12日、日本年金機構本部による全国年金委員研修会が開催され、代表者2名が東京会場で受講しました。また、職域型・地域型年金委員合わせて32名が各年金事務所会議室に集合してテレビ会議にて参加しました。

【研修内容】

- 年金制度改正等に関する説明（厚生労働省）
- 日本年金機構の事業等に関する説明（各事業部門の制度に関する説明）
- 年金委員活動に関する説明

【講演】

- 公的年金の財政検証と今後の変化の方向について
大妻女子大学 玉木伸介教授

(写真)

令和6年度各拠点での取組事例等

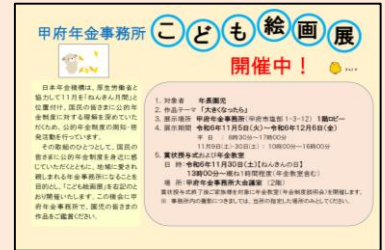
○ 年金の日活動事業（こども絵画展・年金教室実施）

甲府年金事務所の事例

- 地元の幼稚園児に「大きくなったら(将来の夢)」をテーマに絵を描いていただき、11月5日から12月6日までの間、甲府年金事務所内で作品を展示しました。事務所来所者からは、「心がなごみます」等、好意的な評価をいただきました。

(写真)

(写真)



≪事務所入口にこども絵画展の看板を設置≫

≪展示の様々≫

≪こども絵画展の案内≫

- 11月30日に絵を描いていただいた園児・ご家族の方をお招きし、賞状授与式及び年金教室(テーマ:「知っておきたい年金のはなし」)を実施。32名(園児9名、ご家族21名、教職員2名)の方にご参加いただきました。なお、当日の様子は令和6年12月1日「展示絵画描いた幼稚園児を表彰」として山梨日日新聞に掲載されました。

(写真)

(写真)

(写真)